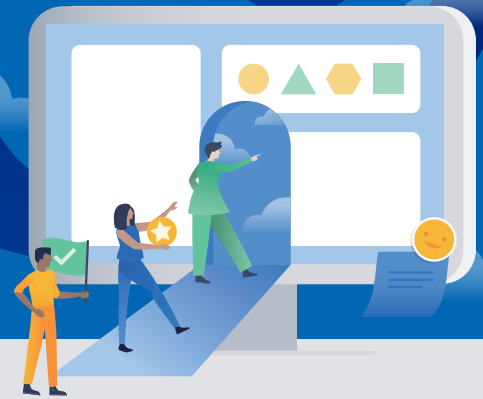


# あらゆる業務情報の玄関口。 業務の本質的な情報と進捗を 社内の適切な関係者へ共有し、 体系化を実現します。

増え続けるツール、やり取りに利用される業務アプリケーション。

Atlasは極限まで簡略化された形で、業務の「誰が」「何を」「何のために」を、  
進捗・背景と共に見える化します。



## Point

### 01

業務の成果と過程を日々の作業と明示的に結びつけることで、部門全体が同じ目的意識を共有できます。

### 02

簡潔で必要十分な情報に絞った情報をやり取りし、業務の背景も更新情報も共有できます。

### 03

各種業務の組織図・体制図から、タスクフォース、業務情報まで体系化されているため、最新情報をいつでも入手できます。

## 異なるツールで管理されている業務の 情報や進捗を全てまとめて見える化

**Before** 必要な情報のありかや聞くべき人がわからない

- 部門ごとに使っているシステムがバラバラ
- リモート環境に分散する担当や業務の状況把握が困難
- 進捗確認や報告会議に時間を費やしている
- 必要な情報をタイムリーに入手できない

**After** 異なるツールや環境下で働く人・情報・業務がつながり、  
即時に的確な判断と行動が可能に

- 部門ごとに好みのツールを使い続けることができる
- 組織を横断した情報ナビゲーションを実現
- 必要な人に、必要な情報を最小限の手間で共有
- 特定の人や部門、施策、テーマに関する情報をタイムリーに入手



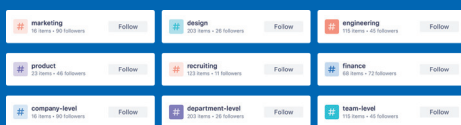
# 機能紹介

## 1. SNSスタイルで施策の5W1Hを共有&取得



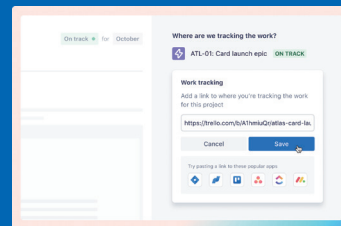
担当施策の進捗を140字以内で投稿すれば、プロジェクトをフォローしているユーザにメール、Slack、Microsoft Teams等に週次で通知されるため、最低限の手間で、必要十分な情報が、必要としている人に確実に届きます。

## 2. 関心のあるトピックをキュレーション



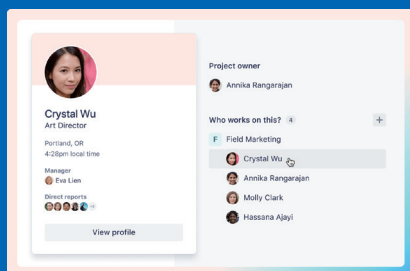
具体的なプロジェクトや施策が不明でも、関心のあるトピックをまとめて閲覧できたり、情報やコンテンツを簡単に取得できます。

## 3. 異なるシステムに散在する詳細情報へのアクセスを提供



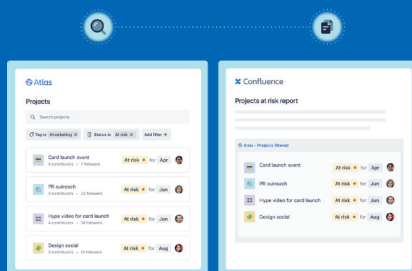
部門や施策ごとに詳細を記録しているシステムやツールが違って問題ありません。他社製品も含めた具体的な作業場所へすぐにアクセスすることができます。

## 4. 関係者・チーム・部門を把握



名前、チーム、上長、部門、場所などの属性から必要な人を検索し、関わっているプロジェクトや施策、直近に作業していた資料や組織図などの情報を確認できます。

## 5. 動的なレポートを作成して他ツールに統合

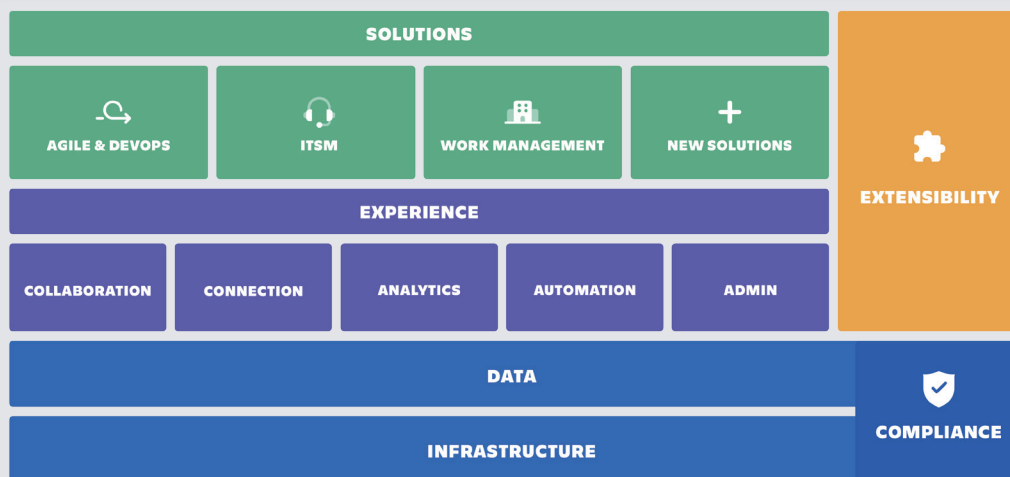


フィルタリング条件やハッシュタグを指定し、必要なプロジェクトや施策の情報を一覧化。ConfluenceやJiraに動的に情報が更新されるレポートとして組み込むことができます。



## あらゆるチームやツールをつなぐアトlassianプラットフォーム

アトlassianは、共通のクラウドプラットフォーム上で、ソフトウェア開発、ITサービス管理 (ITSM)、ワークマネージメントの3分野に対するソリューションを提供しています。アトlassianプラットフォームは、ローコード/ノーコードによる自動化、アトlassianおよびサードパーティー製品からのデータの集約と分析、AIを活用したインテリジェントなコラボレーション機能、拡張性と管理性などを、製品横断の共通機能として提供します。



## ATLASSIAN

アトlassian株式会社  
〒220-8114 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目2-1 ランドマークタワー 1407

導入前のご相談・お問い合わせ

045-330-9081  
受付時間 9:00-18:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

メールによるお問い合わせ

japan-sales@atlassian.com

お問い合わせフォーム

https://www.atlassian.com/company/contact/japan



Solution Partner